

令和8年（2026年）6月3日 全校放送朝会での校長の話

4月の始業式から始まって、もう6月です。

1学期の日数を数えてみましたが、折り返し地点の日は昨日の6月2日でした。早いもので、もう1学期の半分が過ぎましたね。先日5年生が、林間学舎に行ってきました。小学校で初めての宿泊行事を経験し、少したくましくなって帰ってきたように見えましたよ。

さて、朝、正門でみんなを待っていると、みんなは「おはようございます！」「おはよう！」と、声に出してくれます。年々、おはようございます、おはよう、という声がふえていっているなあ、と、とても嬉しいく思い、私もみんなのあいさつで元気が膨らんでいきます。

この間、2年生の皆さんが、1年生の皆さんを、学校探検に連れて行って行っていました。その活動の中で、2年生が、学校のいろんな場所について、クイズを考えて、1年生に出していました。校長室についてのクイズでは、「校長先生は、どうして毎朝、門のところでおはようと、何回も言っているのでしょうか。」というものでした。朝の登校時間は、私にとってはとても大切な時間です。克明小学校のたくさんのみんなと顔を合わせることができるからです。そして、「おはようございます！」とお互いに声を掛け合いながら、私は、心の中で、「今日も登校してきてきれて嬉しいな。」「今日も元気で会えて嬉しいな。」と思っています。朝の挨拶には、命の確認、という意味があるのだそうですよ。

話は変わりますが、皆さんは「もちあじ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。

「もちあじ」ってこういうこと、と説明できる人いますか。

「もちあじ」とは、一人ひとりをつくっているもののことです。例えば、一人ひとり違う「顔」、身体、好きなこと、苦手なこと、好きな色、性格（はきはきしているとか、恥ずかしがり屋さん、とか）、好きな服装、普段使っている言葉、生まれたところ、お誕生日、全部、自分の、一人ひとりのもちあじです。良いところも頑張りが必要なところも全部ひっくるめて、自分やその人のもちあじです。

もちあじは、一人ひとりみんな違いますね。自分と全く同じ持ち味の人っていないでしょう。となると、もちあじには、良いも悪いも無いということになりますね。

もちあじは、ひとりひとりみんなちがってみんな、いいのです。

また、こうも考えられると思います。一人ひとりもちあじは違うけれど、一人ひとりが「大切な命」を持っていることはみんなおんなじです。あと二つ、だれもが持っている大切なものがあります。それは、「名前」と「安心して楽しく過ごしたい」という「願い」です。

この3つは、一人ひとりのもちあじは違って、みんなが同じです。だから、自分を大切にすると同時に、友だちも大切にしましょう。この「もちあじ」や「命」「名前」を大切にすること、「安心して楽しく過ごしたい」という願いを大切にすることを少し難しい言葉で「人権」と言います。

では、友だちを大切にしている具体的な行動ってどんな行動なのでしょう。

考えてみてください。たくさんあると思いますが、まず、友だちに言う「ことば」を大事にしてほしいと思います。他にもたくさんありますね。みんなはいくつ言えるでしょうか。

クレヨンのくろくん、という絵本を知っていますか。

今の5年生は、知っていますよね。去年4年生の時の学年のテーマ「克明クレヨン、ほっとかへんカラー」のもとになったお話です。克明小の図書館にありますから、読んでみてください。

また、今の2年生が、1年生の時、「はばたけ豊中のこどもたち」でスイミーの演技をしたとき、今の2年生が言っていた「もちあじは、みんなのたからもの」という言葉。

その通りですね。とても良い言葉です。

「もちあじは、みんなのたからもの」

自分のもちあじも、お友だちのもちあじも大切にしてほしいです。

これで、私の話を終わります。